

しゃらく互助倶楽部

おかげさまで創業20年

生活支援だより

Vol. 26

2025年4月

こんにちは、生活支援が充実した神戸の安全・安心の身元保証サービス、しゃらく互助倶楽部です。

しゃらく互助倶楽部で提供したサービスを皆さまにお届けします。将来的な問題に備えて皆様の参考になれば幸いです。

活動記

怖いコロナ感染からコロナ肺炎



3月上旬、施設にご入居されている会員様がコロナに感染したと施設から連絡をいただきました。2週間に1回ほど、買い物代行などをさせていただいている会員様で、しばらく生活支援も難しいかなと思っておりました。

そして3月5日の夕方、熱が下がらず、水分補給もできず、ご飯も食べられず、血中酸素量も低下気味で、救急車で緊急搬送され総合病院に入院することになりました。連絡を受けたしゃらく互助倶楽部も、病院へ急いで向かいました。コロナ感染ということもあり、面会はできませんでしたが、入院手続きや入院生活に必要な身の回りの物を準備してお届けすることができました。

コロナ感染前は、歩くことは難しくなってきましたが元気で、私どもが居室に顔を出すと笑顔で出迎えてくれる、愛嬌も兼ね備えたかわいいおばあちゃんでした。ですので、きっと退院してまた笑顔を見せてくれるものと思っていたいました。入院中に一度、スタッフがコロナ病棟に感染防護服を着用して面会をしました。その際にテレビ電話をつなぎ、しゃらく互助倶楽部のスタッフともお話しし、笑顔を見せてくれました。

入院から一週間たった3月12日、病院の地域連携並びに施設との調整により退院することができました。コロナに感染する前よりも体力が落ちていることは明らかでしたが、退院支援をする私どもに笑顔を向けていただけました。

3月13日、訪問医であり主治医である医師がインフォームドコンセントを実施し、コロナ肺炎であることを告げられ、今後の過ごし方に関して意見の調整をさせていただきました。この時に、医療上の意思表示書が本当に役に立ちました（次ページで説明）。

居室で横になる会員様に声をかけると、「足の位置が悪いから変えてくれ！」と言われたので足の位置を変えてあげると、笑顔で「OK!」と言っていました。それが私どもの最後の会話となりました。

3月15日、施設から電話があり、ご逝去されたとの連絡がありました。静かに、寝たままご永眠されたとお伺いしています。

いつも素敵な笑顔を見せてくれた会員様は、教師でした。先生が生徒に笑顔を作って優しく語りかけてくれるように、私どもにも最後まで笑顔でいてくれました。ご冥福をお祈りします。

月	火	水	木	金	土・日
					1・2
3	4	5	6	7	8・9
支援(家屋売買付添) 支援(家事支援) 支援(居室整理・書類整理)	支援(入院付添) 支援(家事支援) 支援(PC印刷補助・書類整理) 支援(買物付添)	互助説明 支援(家事支援) 支援(買物付添)	支援(家事支援・買物付添) 支援(外食付添・買物付添)	互助説明 支援(受診付添) 支援(会員様打合せ) 支援(電気ガス水道閉栓・室内確認)	
10	11	12	13	14	15・16
互助説明 支援(受診付添) 支援(受診付添・買物)	支援(家事支援)	支援(退院付添) 支援(買物付添) 支援(大相撲観戦付添)	支援(IC立会) 支援(居室整理・買物代行) 介護タクシー	支援(来客案内・居室整理等)	緊急支援(ご逝去に伴う駆け付け)
17	18	19	20	21	22・23
介護タクシー 支援(買物代行) 支援(書類整理・寄添い)	支援(家事支援・買物付添)	支援(居室整理) 支援(居室整理・退去に伴う清掃) 介護タクシー	互助説明 支援(家事支援)	支援(受診付添) 支援(担当者会議) 会員様入院見舞い お便り発送	緊急支援(入院手続き)
24	25	26	27	28	29・30/31
支援(銀行付添) 支援(買物代行) 介護タクシー	支援(買物付添・清掃)	互助契約前の打合せ 介護タクシー	支援(書類整理)	支援(受診付添) 支援(書類整理) 介護タクシー	支援(書類整理) 会員様と打合せ 入院お見舞い

お葬式の段取りは大変です。

先日ご逝去された会員様は、生前に葬儀のプランを考え、契約をしておりました。この度ご逝去された会員様は直葬プランを選ばれていました。直葬プランとは、通夜や告別式を行わず、火葬のみで故人を見送るシンプルな葬儀形式です。

とはいえ、①仏様の搬出日時の決定、②死亡届を出す方のお名前の確認、③契約時にお伺いしていたご逝去後に連絡してほしい方への連絡など、やることは多々あります。

今回は土曜日にご逝去されたため、少し慌ただしくなりましたが、システムで管理できているので事務所に行くこともなく、現地での調整ができました。ご本人のご希望で、キリスト教の十字架、肌着、キャラメル、お菓子を必ず棺に入れてほしいというリクエストがあったため、その準備もさせていただきました。また、土曜日でお休みであるにもかかわらず、スタッフがお見送りに施設まで来てくれました。それもまた、私にとっては非常に嬉しかったです。



きっと天国から笑顔で手を振ってくれていると思います。

今月のご相談

「医療上の意思表示書の重要性」

前編の続きになります。インフォームドコンセント（IC）とは、医師が患者や家族に対して治療内容やリスクを十分に説明し、患者が納得した上で同意を得るプロセスのことです。

退院して施設に戻った会員様は、話すことも体を動かすことも気力がない状態でした。そんな中、医師と施設関係者と一緒に今後の治療方針を話し合いました。会員様とは、2024年11月27日に2回目の医療上の意思表示書の更新を行っており、しゃらく互助倶楽部としては、その意思表示書をもとにお話しさせていただきました。病院でも食事をあまり取れておらず、水分補給も点滴で補っている状況でした。ただ、会員様は「自然に口から摂取できるだけでいい」と意思を表示されていたことに加え、医師も施設の方もその意思表示書に目を通していただき問題ないと判断されたので、そのように進めることになりました。

確かに、点滴で水分や栄養を補給すると命を延ばすことができるかもしれませんが。しかし、辛い中での栄養補給はかえって心がしんどくなることもあると思います。

会員様が選んだ方法で最期を迎えられたこと、これも医療上の意思表示書のおかげです。しゃらく互助倶楽部の会員様は、必ず医療上の意思表示書を作成しますが、会員様ではない方も作成されていた方がいいと思います。

スタッフの日日是好日

いつの間にかしゃらくに入社して3年目に突入した穂積です。入社当時は、息子とわんこさん2匹と一緒に暮らしていたのですが、今は息子は職場の近くで一人暮らしをはじめて楽しく暮らしています。

そして、今年の1月に愛犬の栗太郎くんが天国へ行ってしまいました。今は、1匹残っている老犬モコちゃんの介護をしながら暮らしています。

モコちゃんは3年前に甲状腺にガンも見つかって、治療をすることによる体の負担と、かなり高額な治療ということで自然の進行を見守る生活をしてきました。

ガンが、かなり進行のゆっくりな箇所にてきていることから今年に入るまでは何事もなく元気な様子で暮らしていたのですが、今年に入って急激に症状が進み、一時は立ち上がることも出来ないようになっていました。それでも食欲はあるので、なんとか喜んでくれるものを食べられるだけ与えています。

それが良かったのか、ヨレヨレではあるものの、自分で立ち上がれるようになりました。後ろ足の力が弱くなっているので滑り止めのシールを肉球に貼ってみたり、フローリングにカーペットを敷いてみたりと試行錯誤の介護です。なんとか1日でも長くそばにいてほしいと思い、毎日を大切に暮らしています。

今年の春は愛犬を抱えて桜でも見に行こうと思います！



しゃらく互助倶楽部では、公式LINEを導入しました！LINEをご利用の方は、気軽にこちらからご相談いただけます。**公式LINE導入の背景** 電話では伝わりにくいことや、視覚的に理解するのが難しいことが多々あります。また、多くのご相談者から「LINEで相談できないか」というご要望をいただいております。まだLINEを使ったことがない方もいらっしゃると思いますが、これを機会にぜひLINEに挑戦してみてください。**LINEの利用方法**

1.LINEアプリのダウンロード

○まだLINEアプリをお持ちでない方は、携帯電話にLINEアプリをダウンロードして設定してください。

2.QRコードの読み取り

①LINEアプリを開き、「ホーム」→「右上のお友達を追加」→「QRコード」の順に進み、下記のQRコードを読み取ってください。これで登録完了です。

3.相談の開始

登録後、「身元保証に関する相談をしたい」をクリックして、何でもご質問ください。皆様のご相談をお待ちしております！



会員様とフィンランドへ行ってきました！

しゃらく互助倶楽部会員でもあり、しゃらく旅倶楽部を毎月ご利用されている会員様と北欧フィンランドへ行ってきました。

若いころから旅行が大好きな会員様。40代のころから一人旅を始められ、今までたくさんの国を訪れたそうです。

中国やエジプトなど数々の国を訪れなか、北欧へはまだ行ったことがないので行ってみたいでしたのご希望を頂きました。

せっかく北欧へいくならやっぱりオーロラをみないと！ということで、3月フィンランド旅行が実行されました！

神戸空港からまずは羽田空港、そこからフィンランド首都ヘルシンキまで13時間、そしてさらにロバニエミという町まで空の旅です。ビジネスクラスをご利用されたので、快適な旅となりました。

日ごろの行いがよほどいいのか、1日目の夜にしっかりとオーロラ観測ができ、本物のサンタクロースに会い、有名な夜行列車に乗って首都へ戻り、まるで映画の中にいるような素敵な街を散策。ご一緒させて頂くなかで、決して忘れることの出来ない7日間の旅行となりました。

戻ってきた今では、次はエジプトへ！とお話は盛り上がっています。お元気なうちにたくさん旅行しましょうね♪

